

第 57 回 全日本大学駅伝 関東地区代表校 壮行会を開催

～全国の頂点を目指す 15 校が集結。代表者が意気込みを語る～



大会に向けて意気込みを語った各校の代表者

秩父宮賜杯 第 57 回 全日本大学駅伝対校選手権大会（主催：公益社団法人 日本学生陸上競技連合、朝日新聞社、テレビ朝日、メ〜テレ／特別協賛：長谷工グループ）に先立ち、関東地区代表校を迎えた壮行会が、2025 年 10 月 1 日（水）に朝日新聞東京本社 2F 読者ホールにて開催されました。

大学駅伝の“真の日本一”を決める舞台へ——関東の精鋭たちが意気込みを表明

全日本大学駅伝は、全国の大学が一堂に会し、「真の大学駅伝日本一」を競う格式ある大会です。本壮行会には、関東地区からの出場を決めた 15 校の代表者（選手・主務・マネージャー等）が出席し、全国の頂点を目指す意気込みを一人ひとりが語りました。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社文化工房 広報メディア局 担当：伊奈・横井 TEL：090-2440-3652 MAIL：yokoi@bun.co.jp

主催者・協賛企業から激励の言葉と差し入れ贈呈

壮行会では、主催者を代表して朝日新聞社・常務取締役の藤嶋祥二氏、また特別協賛社・長谷工グループを代表して長谷工コーポレーション・常務執行役員の直江大氏が登壇。出場チームに向けて熱いエールを送りました。

さらに出場 15 校には、長谷工グループから差し入れとして、各校の公式ユニフォームデザインを施した「がんばれ大学駅伝 出場校応援ボトル」入りミネラルウォーターが手渡されたほか、長谷工グループの株式会社長谷工あんしんデリが滋賀県・田上^{たなかみ}で土づくりから関わり、丹念に育てて収穫した「たなかみ米」60kg の目録が贈呈され、ステージ上で贈呈式と記念撮影が行われました。



選手からは本番に向けた力強いコメントも

司会を務めたのは、テレビ朝日・大西洋平アナウンサーと鈴木新彩アナウンサー。大西アナウンサーが各校代表者にインタビューを行い、「4 年生に限らず全選手がいい練習を積めていて、誰が出てもいい走りができる。連覇を懸けて走る（國學院大学）」「大学駅伝 3 冠という目標を掲げて日々練習に励んできた。日頃から応援してくださっている方々への感謝の気持ちを胸に伊勢路を駆ける（駒澤大学）」「“王者の挑戦”というスローガンを掲げて新チームを立ち上げた。挑戦者という意識をもって取り組んできた。当日は正々堂々、優勝を目指して臨む（青山学院大学）」など、それぞれの決意と目標が語られました。



○出場校一覧（15 校）

國學院大学／駒澤大学／青山学院大学／創価大学／早稲田大学／城西大学／立教大学／帝京大学／中央大学／大東文化大学／順天堂大学／日本大学／東海大学／中央学院大学／日本体育大学

本大会「秩父宮賜杯 第 57 回全日本大学駅伝対校選手権大会」は、2025 年 11 月 2 日（日）に熱田神宮（愛知県名古屋市）をスタートし、伊勢神宮（三重県伊勢市）までの全長 106.8km で開催予定です。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社文化工房 広報メディア局 担当：伊奈・横井

TEL：03-5770-7114 / 携帯：090-2440-3652

MAIL：yokoi@bun.co.jp

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

株式会社文化工房 広報メディア局 担当：伊奈・横井 TEL：090-2440-3652 MAIL：yokoi@bun.co.jp